

令和 8 年度 いじめ防止研修会

座間支援学校いじめ防止基本方針および令和8年度座間支援学校いじめ防止指導等年間計画(ホームページ参照)に基づき、いじめ防止等に関する職員の資質向上を図るため、7月24日、「いじめ防止研修会」を実施しました。

「ここから未来アドバイザー」の渡邊信二さんを講師としてお呼びし、「いじめの起きにくい学級づくり」「児童生徒同士がより良い関係を築き、一人ひとりが尊重される学級づくり」などのテーマでお話しいただきました。

渡邊さんは川崎市教育委員会に在籍していた2010年、いじめをきっかけに自死した市内の中学3年生・篠原真也さんについて調査を担当され、現場に復帰された後、自分の担任するクラスで篠原真也さんのことを話し、「いのちの授業」を実践されました。その模様はNHKスペシャル「わたしをあきらめない」などで紹介されました。退職以来、全国の学校などでいじめについて考える講演や、連載・配信などを続けておられます。

今回の研修では、これらの経験をもとに実際の「いのちの授業」などの映像を交えながら熱く語っていただきました。自分の中の「変」を見つけ、人の「変」と横並びにし、互いに違いを認め合うことが大切であること、根源的受動性の承認をする、一緒に考えていくと約束するという「他者の存在」がとても大切であることなど、多くのことを学びました。

多くの教職員の参加があり、「感動した」「他者の「変」は自分基準であるという言葉が心に残った」「他者への信頼が自分への信頼につながることを再認識した」などの感想がありました。いじめに対する感度や未然防止につながる学級経営等の意識を高めることができ、大変実りある研修会となりました。

これからもいじめ防止に努め、子どもたち、並びに保護者の皆さまが安心して過ごせる学校づくりを行っていきます。

講師の渡邊信二様、篠原真也さんのご両親様、関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

